



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、フラットパネルディスプレイ (FPD) 市場の黎明期である1997年に創業いたしました。以来、変化に先駆けるイノベティブなソリューションを独自の経営と技術で追求し、FPDの技術革新を支える様々な製造装置・検査装置をこれまでお客様にお届けしてまいりました。今日では、FPD製造プロセスの上流から下流まで網羅したトータルソリューションとユニークな技術でお客様価値の向上に努めております。

当連結会計年度における世界経済は、資源価格の低迷などの影響をうけやや減速しました。米国経済は、個人消費が底堅く良好な状態を継続しました。欧州経済は、個人消費が牽引し緩やかな景気回復が継続されました。わが国経済は、設備投資の持ち直しを確認できたものの、マイナス金利導入後も株安・円高が継続し景気の先行きに不透明さが残りました。

当社グループの主要な市場であるフラットパネルディスプレイ (FPD) の製造装置市場においては、スマートフォンなどモバイル端末用の中小型液晶パネルの設備投資に加えて、テレビ向け大型液晶パネルの設備投資等が継続されました。

このような環境の中、当社グループは、国内外のパネルメーカーに拡販活動を行ってまいりました。受注金額は、主に中国、国内向

けの検査関連装置及び露光装置の受注、国内外向けの関連消耗部品及びメンテナンス等の受注により、690億3千6百万円 (前年同期226億7千9百万円、過去最高額) となりました。なお、受注残高は426億7千1百万円 (前年同期127億8千8百万円) となりました。

この結果、当連結会計年度において、株式会社VNシステムズ及び同社子会社2社を連結子会社化したこと等に伴い、売上高は391億5千3百万円 (前年同期売上高164億5千6百万円、過去最高額)、営業利益は25億7千8百万円 (前年同期営業利益8億6千2百万円、過去最高額)、経常利益は22億3千5百万円 (前年同期経常利益10億5千3百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は9億8千9百万円 (前年同期親会社株主に帰属する当期純利益5億3千3百万円) となりました。

なお、2016年3月期の期末配当金につきましては配当方針に基づき、1株当たり25.00円 (中間配当金25.00円を含め年間50.00円) の配当を実施いたします。

今後も、当社グループは株主の皆様のご期待に添えますよう、中長期的な企業価値の向上と継続的な成長を目指した経営を進めるとともに、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2016年6月



代表取締役社長
杉本 重人

オー・エイチ・ティー株式会社の株式取得(子会社化)について

当社は、2016年4月1日に株式会社ひろしまイノベーション推進機構株式会社が運営するHIF-A投資事業組合(通称:ひろしまイノベーションファンド、主な出資者:広島県)が保有するオー・エイチ・ティー株式会社(以下、OHT社)の株式のうち67%を取得し子会社化いたしましたので、ご報告いたします。

1. 株式取得の理由

OHT社は、広島県福山市に本社を置くフラットパネルディスプレイ(FPD)やプリント基板を検査対象とする特殊な非接触センサー等を用いた検査装置メーカーで、ひろしまイノベーション推進機構から2012年4月に出資及び経営面での支援を受け、グローバル・ニッチ企業として成長し続けています。2014年6月には、同業であった株式会社ユニオンアロー・テクノロジー(当時 岡山県、現在 広島県福山市)の買収を実現し、FPD向け完全非接触検査装置におけるグローバル・オンリーワンの地位を確立しました。これらの結果、OHTグループの連結売上高は出資当時の31.8億円(2012年4月期)から63.4億円(2015年4月期)にまで拡大し、順調に推移しております。

当社は、独創的な検査・修正・測定及びモジュール検査関連のソリューションでFPD用検査装置事業及び、カラーフィルターや光配向プロセス用のFPD製造装置事業を展開しており、FPD製造に関するトータルソリューションプロバイダーとして市場において確固たる地位を占めております。また、中長期的な成長を実現すべく市場ニーズを先取りしたイノベティブな新製品の開発及びシナジーと

中長期的な発展が期待できる事業の取得などに積極的に取り組み、事業拡大を加速しております。OHT社の昨今の事業展開は大変素晴らしく、協業による新製品・新技術の開発促進及び両社製品のセット販売による営業強化等のシナジーで、両社の企業価値最大化が共に目指せると判断し、この度、ひろしまイノベーションファンドが保有する株式の取得を決定いたしました。

なお、ひろしまイノベーションファンドが保有する株式のうち33%については、OHT社と同じく広島県の企業である田中電機工業株式会社(代表取締役社長 田中秀和)が取得されることとなり今後OHT社の事業をサポートされる予定です。また、同社は、半導体製造装置の制御技術などに優れており、今後、同社と多方面で協力関係が築き上げられるものと期待しております。



オー・エイチ・ティー株式会社、本社/工場(福山市)

競争力、イノベーション力強化に向けた取り組み

当社の競争力の源泉は、「イノベーション力」によるところが大きいものと考えております。そして、「イノベーション力」強化を目指し卓越した研究開発者・技術者を増やすべく、研究開発環境の整備に努めています。

テクノロジーの進化・変化が著しいディスプレイ業界の現場では、有機ELや液晶などディスプレイ製造技術の根幹となる原理を完全に理解した上で、複数の専門分野を縦断して、数多くの技術者・研究開発者が活発な意見交換、共同作業を積極的に進めていくことが求められています。

当社は、日本有数のディスプレイ製造装置メーカーとしての立場と責任を踏まえて、ディスプレイ業界の期待に応えるべく、このようなイノベーションの場を設定し、推進していくことにより、ひいては、イノベーション力の強化による、製品の差別化につながるものと考えています。

この度、開発業務に携わりながら学位を習得するテストケースとして、代表取締役の杉本重人が3月に、山形大学大学院理工学研究科有機材料工学専攻の博士課程*1を修了しました。今後は、杉本に続き学位取得等をばねに飛躍を目指す役職員へのサポートをさらに強化するとともに、ディスプレイの進化を支えるソリューションの創造に一層邁進いたします。そして、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。

引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ご指導頂いた城戸教授（向かって右）と杉本（左）

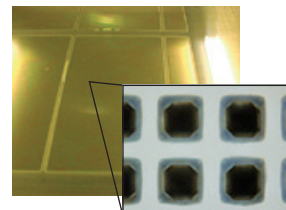
- *1：大型ディスプレイ、有機ELパネル製造プロセスに関わる革新的なレーザーアニール技術について研究。この技術は、3m角を越す大型基板上のTFT*2チャンネル部のみを局部的にアニールするという全く新しいコンセプトを採用しています。また、マイクロレンズアレイ*3を用いた独自のレーザー加工用光学系と画像処理による加工位置リアルタイム補正技術で実現を目指すもの。
- *2：Thin film transistorの略。画素毎に蒸着された有機EL材料に電気を流す役割を果たす。
- *3：数十ミクロン径の微小レンズが板状の基板に無数に形成されたレンズ。

当社の有機ELパネル関連ソリューション

有機ELディスプレイに注目が集まっています。有機ELディスプレイ（以下、「OLED」）とは、電圧をかけると自発光する有機物を用いて作られたディスプレイです。自発光、コントラスト値が非常に高い、割れない、曲げられる、薄型化が容易等従来にない特長を備えるディスプレイとして期待されています。有機ELパネル製造工程には、蒸着工程とバックプレーン（TFT）工程という2つの重要な製造プロセスがあります。この2つのプロセスに不可欠な当社のソリューションをご紹介します。

<Fine Hybrid Mask (FHM) >

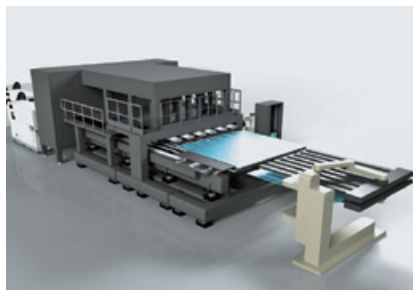
FHMIは、高精細OLEDの製造に最適なマスクです。金属と樹脂のハイブリッド構造で従来マスクより薄型化しており、これにより蒸着材料が開口部をスムーズに通過可能となり、微細な画素の鮮明なパターンニングを実現しています。開口部は、レーザー加工により形成され、蒸着性が向上しています。また、開口部の位置制御に特別なノウハウを必要としない「ノンテンション構造」を採用しています。



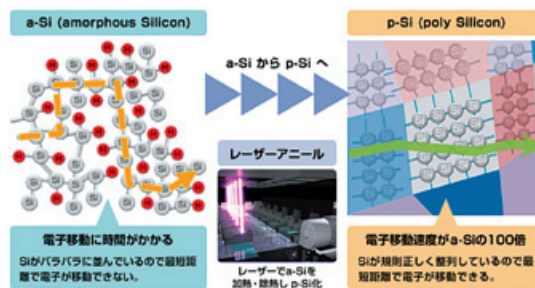
FHM外観と画素部拡大写真

<局所レーザーアニール装置>

レーザーアニールとは、ガラス基板表面に成膜されたアモルファスシリコンにレーザーを照射することで瞬間加熱し、シリコン分子の結合状態をアモルファス（非結晶）状態から、ポリ（多結晶）状態に変える、電子移動度を向上させる技術です。これにより、省電力で高精細なスマートフォンやパネルの生産が可能となります。当社は、TFT基板上のポリシリコンが必要な箇所だけを選択的にレーザーアニールする技術の開発に取り組んでいます。この技術は低温ポリシリコンTFTの生産性向上とランニングコスト低減が実現できる新しい技術です。

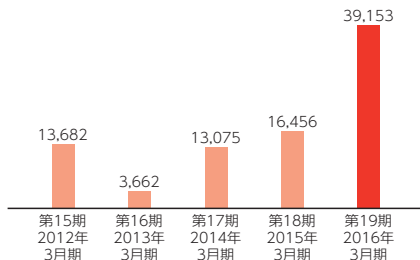


(図) 局所レーザーアニール装置

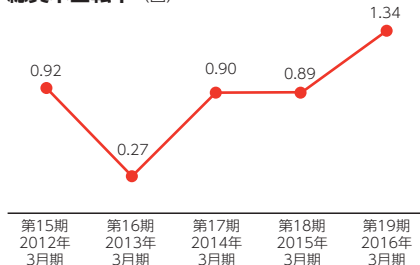


(図) レーザーアニールによる電子移動度（移動速度）の向上

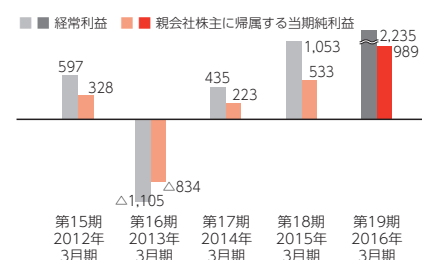
売上高 (百万円)



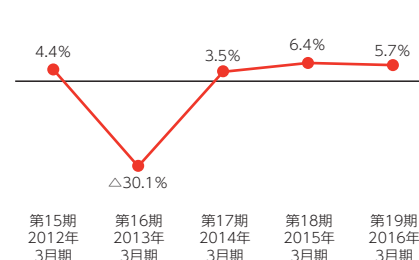
総資本回転率 (回)



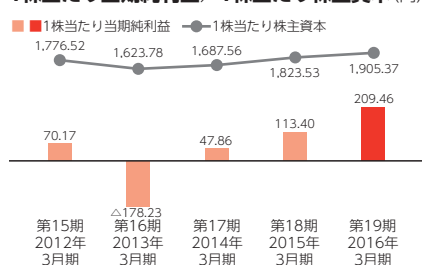
経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



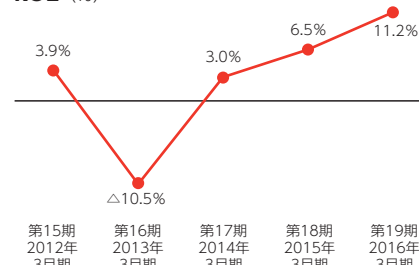
経常利益率 (%)



1株当たり当期純利益/1株当たり株主資本 (円)



ROE (%)



(注) 1株当たりの情報については過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行っております。

● 2017年3月期(第20期)の業績見通し

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益*1 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円)
業績予想	45,000	4,000	3,800	1,900	401.93
(ご参考) 前期実績	39,153	2,578	2,235	989	209.46

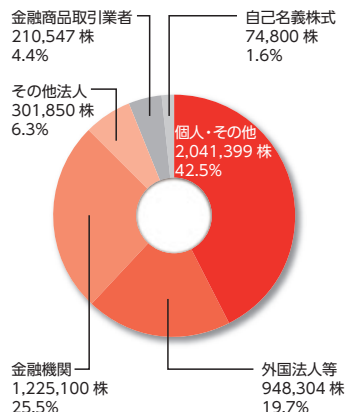
2016年度のフラットパネルディスプレイ (FPD) 市場は、昨年に引続き国内外で高精細液晶パネルの設備投資並びに有機ELパネルに関する大型案件が複数見込まれております。2017年度の連結業績見通しにつきましては、売上高45,000百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益4,000百万円(前年同期比55.2%増)、経常利益3,800百万円(前年同期比70.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,900百万円(前年同期比92.0%増)を見込んでおります。

*業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

株式の状況 (2016年3月31日現在) Stock Information

- 発行可能株式総数 17,590,300株
- 発行済株式総数 4,802,000株
- 株主数 4,067名
- 株式所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株比率 (%)	持株数
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	12.9%	620,400株
杉本重人	10.8%	519,300株
三菱UFJ銀行株式会社 (信託口)	9.9%	480,000株
新菱冷熱工業株式会社	4.9%	233,300株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4.3%	206,100株
BNY GCM CLIENTACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	3.6%	171,172株
MSIP CLIENT SECURITIES	3.2%	152,000株
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	2.2%	103,473株
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505012	2.0%	96,000株
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	1.4%	65,700株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	1.3%	64,100株

当社は自己株式74,800株を保有しておりますが、上記から除いております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
・ 期末配当金 3月31日
・ 中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
・ 同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL：0120-232-711 (通話料無料)
・ 同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <http://www.vtec.co.jp>
- 株式の分割 単元株制度採用に伴い、平成26年3月31日(月)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって4月1日付で分割いたしました。

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

UD FONT



会社の概要 (2016年3月31日現在) Company Profile



社 名：株式会社バイ・テクノロジー
設 立：1997年10月16日
本 社 所 在 地：横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F
TEL：045-338-1980 FAX：045-338-1781

役員

代表取締役社長	杉本重人
専務取締役	梶山康一
常務取締役	米澤良
取締役	勝原隆
取締役	城戸淳二

常勤監査役	和田正
監査役	大倉修和
監査役	吾田啓一郎
監査役	住田勲勇

1. 取締役城戸淳二は社外取締役であります。
2. 監査役大倉修和及び吾田啓一郎は、社外監査役であります。

拠点一覧

